

白河天皇ノ皇子高倉宮以仁王後西院天皇ノ皇女貞宮ノ如キ、及ビ後世總テ比丘尼御所ト
稱スルモノ、如キハ、共ニ親王宣下ヲ得ズシテ諸王タルモノナリ、而シテ孫王トイヘドモ
宣下ヲ蒙レバ、或ハ親王タルコトヲ得ルナリ、孫王ニシテ親王宣下ノ初例トモ見ルベキハ、
小一條院ノ御子敦貞敦元ノ二王、及ビ儀子嘉子ノ二女王トス、然レドモ、二王ハ三條天皇ノ
皇子ニ准ジテ親王ト爲シ、二女王ハ天皇ノ養女トシテ内親王ノ宣下アリシナリ、此親王宣
下ノ制ハ、維新ノ後、廢セラレテ古制ニ復スルコト、ナレリ。

中世以降、皇親漸ク蕃衍シ府庫ヲ費スコト多キヲ以テ、悉ク封戸ノ制ニ從フコト能ハズ、是
ニ於テ姓ヲ賜ヒ人臣ニ列スルコト起リ、桓武天皇延暦六年、諸勝岡成ノ二皇子ニ廣根朝臣
長岡朝臣ノ姓ヲ賜フ、是ヲ皇子賜姓ノ始メトス、次テ嵯峨天皇ハ、ソノ八皇子ニ悉ク源朝臣
ノ姓ヲ賜ヘリ、爾後皇子ノ人臣ニ列スルモノ世々絶エズ、然レドモ種々ノ事情ニヨリ、賜姓
ノ後再び親王宣下アリテ、皇親ニ列セシモノナシトセズ、醍醐天皇ノ皇子兼明親王ノ如キ
ハコノ類ナリ、諸王ノ姓ヲ賜ヘルハ、聖武天皇天平八年ニ、敏達天皇ノ玄孫葛城王等ニ橘宿
禰ノ姓ヲ賜ヒシ類ニテ、稱德天皇天平勝寶四年ニハ、皇孫智努王等ニ文室真人ノ姓ヲ賜ヒ、
爾後漸クソノ數アリ、降リテ仁明天皇ノ朝ニ至リ、明日香親王ガ、其所生ノ男女ニ姓ヲ賜ハ
ンコトヲ懇請シタマヒテヨリ、孫王賜姓ノコト益多シ、後ニハ王號ヲ稱スルモノ大ニ減ジ、
獨リ神祇伯ヲ以テ世職トセル白河家ノミハ、永ク王號ヲ繼續シタリ、コノ賜姓ノ事ト、前ニ
述ベタル皇子皇女出家ノ事トニヨリテ、皇族ノ數ハ極メテ少クナリ、且世襲親王トテハ、古
クハ常盤井宮、木寺宮、近クハ伏見、桂、有栖川ノ三親王ニ過ギザリシヲ、後又閑院宮ヲ立テラ
レテヨリ、四親王家トナレリ、但シ世襲親王家ニ嗣ナクシテ、皇子ノ入テ其家ニ嗣トナリタ
マフ時ハ、多クハ宮號ヲ改メ新ニ其家ヲ興スヲ例トス、タトヘバ八條宮ノ常盤井ト改メ、再